

令和元年度 学校評価報告書（目標設定）

	視点	4年間の目標 (平成29年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①生徒自らが課題を発見、探求して課題を解決する意欲と力を高められるよう教育課程の再編に取り組む。</p> <p>②生徒の主体的な学びを引き出し、生徒一人ひとりに応じた教科指導体制と学習評価体制を確立し、不断の授業改善に取り組む。</p>	<p>①生徒の課題解決力や学ぶ意欲を育むとともに、大学入試改革や新学習指導要領に柔軟に対応できる教育課程の改訂に引き続き取り組む。</p> <p>②「生徒の興味関心を高め、達成感から主体的な学びへ」つなげるためのICT機器の活用や対話的な学びを推進するとともに、TT体制の検証など柔軟な教科指導体制を実践する。</p>	<p>①教育課程検討会を定期的に開催し機能化させ、教職員の共通理解を図りながら、教育課程の改訂に向けた具体的な検討と改訂を行う。 【教務 教育課程検討会】</p> <p>②優れた授業実践や教材等を共有するための教員相互の情報共有や授業見学会等を推進する。 【教務】</p>	<p>①生徒の進路実現に向けた教育課程編成の原案が作れたか</p> <p>②生徒による授業評価の「授業の充実感」「生徒主体の授業の工夫」の項目で高評価が得られたか。</p>
2	生徒指導・ 支援	<p>①生徒数の減少の中で部活動の活性化を推進し、協調性と責任感の涵養を図る。</p> <p>②学校行事や生徒会活動の精選と活性化を進め、生徒とともにユニバーサルデザイン化（以下UD化）を推進する。</p> <p>③生活指導と生徒支援の一体化を推進し教育相談体制の拡充と外部連携を進める。</p>	<p>①部活動の活性化のため加入率の向上と充実感に育成につながる継続的な支援体制整備に努めるとともに、学業との両立を推し進める。</p> <p>②人権尊重の視点に立った教育活動を推進するとともに、個に応じた指導と支援の一体化した、きめ細やかな生徒支援を進める。</p>	<p>①新入生の部活動加入の促進方法を検討、改善するとともに、中学生対象の部活動見学・体験などを通して、次年度入学希望者への働きかけを実施する。 【生徒会 情報管理】</p> <p>②人権、および多様性の尊重のための、より効果的な方法と内容を検討し、教職員、生徒対象の研修機会を設定する。 多様な生徒のニーズに対して、チームによる多角的な支援を迅速かつ適切に展開する。 【生徒支援】</p>	<p>①部活動加入率低下に歯止めがかかったか。途中退部に係る分析や対応策を検討できたか。学業とのより良い両立を目指した支援が行えたか。</p> <p>②研修等の実施前後の生徒の変容をみとめるためのアンケートを実施し生徒へのフィードバックを行えたか。 ケース会議等の取組が支援の必要な生徒の指導に生かせ、迅速で適切な課題解決につながったか。</p>

	視点	4年間の目標 (平成29年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
3	進路指導・支援	<p>①生徒自身が、体験し考えるキャリア教育計画を計画し、その実践を進める。</p> <p>②インクルーシブ教育実践推進校として、すべての生徒一人ひとりの社会接続が確実に実現されるよう、丁寧な進路支援を進める。</p>	<p>①生徒一人ひとりの進路実現に向け学習指導と進路指導の両輪の連携と強化を図るとともに、生徒の主体的な進路実現の動きを促す指導体制づくりを進める。</p> <p>②連携・特別募集生徒の社会接続に組織的に取り組む</p>	<p>①校内での情報共有や進路データの有効活用を進め、複雑化する入試制度に対応できるように、的確な情報提供を行い、生徒自らが主体的に進路計画の実践ができるよう支援する。 【進路】</p> <p>②「進路実践」の3年間の内容や流れについて系統的整備を進めるとともに、幅広い実習・体験先の開拓を行う。 【進路】</p>	<p>①生徒の進路目標を明確にし、安易な進路選択に向かわせないような指導が実施できたか。</p> <p>②連携生徒の個々の希望を踏まえた社会接続が実現できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域に学校情報を積極的に発信するとともに、生徒の地域理解を進め地域貢献に積極的に取り組むなど、地域との協働を推進する。</p> <p>②地域と連携して、地域防災を推進する。</p>	<p>①本校の魅力の発信のためにHPの充実を図る。 コミュニティスクールを活用して様々な外部の意見を聴取し、学校運営に活かす。</p> <p>②「避難所初動マニュアル」と従来の「防災マニュアル」の周知を徹底し、総合的に運用し、防災体制を強化する。</p>	<p>①地域のニーズ、中学生及びその保護者の進路選択の実際等、情勢分析を行い、地域への的確な情報提供を行う。 【情報管理】</p> <p>地域との連携を推進するコミュニティスクールを組織する。 【管理運営】</p> <p>②災害に対処する実践的な訓練を計画実施する。 【管理運営】</p>	<p>①HPの定期的な更新や学校説明会等で、情報の質と量の確保、的確な情報提供と丁寧な対応ができたか。</p> <p>コンソーシアムの形成や職員の業務遂行に資するコミュニティスクールを組織できたか。</p> <p>②南足柄市と協議を継続し体制整備が進められたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①教育環境課題を洗い出し、安全安心な環境づくりに計画的組織的に取り組む。</p> <p>②校内施設と教育活動計画のバリアフリー化を進める。</p> <p>③不祥事防止に努め、実効性の高い組織的取組を行う。</p>	<p>①本来業務への対応時間を確保し、人材育成も含めて好循環が生まれ出すよう、職場環境を整備し、教職員の働き方改革を推進する。</p> <p>②教職員一人ひとりが自覚と誇りを持ち、全校体制で不祥事防止の徹底に引き続き取り組む。</p>	<p>①教職員数の減少を見据え、個人に頼らない仕組みづくり、業務総量の削減、業務遂行手順を点検し、定期的に改善を図る。</p> <p>②教職員の意識向上とコンプライアンスマニュアルを活用した効果的な不祥事防止研修、事故防止会議を計画的に実施し、不祥事ゼロプログラムを着実に実施する。</p>	<p>①業務総量の削減や業務遂行手順の見直しができたか。</p> <p>②事故防止会議等の定期的な実施により、事故・不祥事を未然に防止できたか。</p>